

ファイナンス入門		講義	教授 岡野 武志	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目 経営・経済コースの専門選 択科目 教職科目	科目ナンバリング	23012103 25310104	

1. 授業のねらい・概要

社会経済活動（モノやサービスの取引、情報・人の移動など）の多くは、お金の動きと表裏一体となっている。個人の生活や企業活動で日常的にファイナンスに関わっているにもかかわらず、ファイナンスに対して複雑で専門的＝難解というイメージを持つ人も多い。この授業では、できる限り難解な数式などを使わずに、ファイナンスの大枠や仕組み、具体的な事象などについて解説し、社会で活躍するための基礎力を養うことを目的とする。

2. 授業の進め方

事前に提供または指定された資料を予習していることを前提に、授業では重要なポイントの解説や関連事例等についての考察を重視し、テーマについての質疑応答やディスカッション等も積極的に行う。また、理解の定着と考える力の向上を図るため、各回授業の終了後に小レポートを課し、その結果を成績評価にも反映させる。

3. 授業計画

1. イントロダクション/お金とは	8. 機関投資家と信託
2. 金融の仕組みと機能	9. パーソナル・ファイナンス
3. 資産と負債	10. 社会保険の仕組み
4. 投資と株式	11. 貯蓄と投資
5. コーポレート・ファイナンス	12. リスクとリターン
6. さまざまな金融商品	13. 金融の自由化
7. 銀行・証券・保険	14. 金融政策と通貨価値
	15. 新しい金融

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回の授業を受講する前に事前に提供または指定された資料を予習し、関連する事項やニュース等を調べておくこと。授業終了後には授業で取り扱った内容を振り返りながら小レポートを作成・提出するとともに、関心を持った事項等について掘り下げて理解を深めること。これらの予習・復習等には、それぞれ2時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小レポート及び期末レポートの趣旨や課題については授業の中で説明する。

6. 授業における学修の到達目標

ファイナンスの基礎的な概念を理解し、これらの概念を用いて個人や企業等の活動において合理的に意思決定できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（小レポートへの評価を含む：60％）と期末レポートの評価（40％）を総合して評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書は指定せず、各回の講義に用いる資料は会場で表示する。参考文献等は必要に応じて授業内で紹介する。

9. 受講上の留意事項

新聞やTV番組、インターネット上の情報等を活用し、日頃からファイナンスに関連する事項に関心を持つこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。